



## 1 「地域創造学」 ～研究の進め方の理解～

5月20日(水)、第5ステージ生徒(高校2・3年生)を対象に、教育コーディネーターの若林詩織さんから「自分の好きを見つける」というテーマで講義をしていただきました。この授業では、生徒自身の好きなことや関心のあることを例として問いを立ててみることで、地域創造学の研究テーマを設定する上で必要となる「問いの立て方」を学ぶとともに、グループワークのルールも学び、研究の進め方の理解を深めることを目的として行われました。生徒たちはマインドマップを作成し、グループで共有することで、自己理解を深めていました。



## 2 3年A組フードデザイン実習



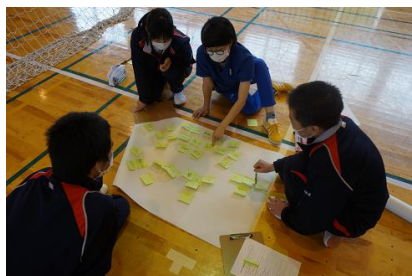
5月15日(金)、フードデザインの授業で調理実習が行われました。本校では1年次に全員必修で家庭基礎を履修した後、就職系コースを選択した生徒が3年次にフードデザインという科目を履修しています。生徒たちは、まず30秒でキュウリを何枚切れるかテストに挑戦しました。その後、そのスライスしたキュウリを活用したわかめとキュウリの和え物とだし巻き卵を作り、調理後は皆でおいしくいただきました。



## 3 主権者教育 「討論の手法」



5月26日(火)、教育コーディネーターの小宅優美さんを講師にお迎えし、1年生対象に主権者教育として「討論の手法」の授業が行われ、民主主義社会における話し合いの大切さや注意点について学びました。また、話し合いを深めるための方法として、ブレインストーミング・KJ法について体験しました。生徒たちは、「無人島に一つだけ持っていくなら何を持って行く?」「あなたの理想の高校生活は?」というテーマについて考え、グループごとに積極的に取り組んでいました。



## 4 「地域創造学」

### ～住田町の歴史や資源を知るためのレクチャー～

5月20日(水)と27日(水)、第4ステージ生徒(高校1年生)を対象に、教育コーディネーターの小向はるかさんと住高ハウス〇〇スタッフの奈良朋彦さんから、「住田町の歴史や資源を知る」というテーマで講義をしていただきました。生徒たちは、ワークシートを使いながら周辺市町村と住田町の情報を比較したり、住田町の写真の説明を聞いた後で自分の気になる写真を選び、研究につながるようなアイデアを出してグループで共有したりする活動に意欲的に取り組んでいました。この授業を通して、地域についての理解を深めるとともに、自分と地域との関わりについて考える良い機会になり、今後の研究の礎を築くことができました。



## 5 第25回海外派遣研修事業報告会

6月2日(火)、本校の教育振興会総会が開催されるのに先立って、海外派遣研修事業報告会が本校視聴覚室で行われました。この海外派遣研修事業は教育振興会事業の一環として、令和2年2月14日から25日までの12日間、本校生徒がオーストラリアに派遣されたものです。派遣された6人はオーストラリアでの生活や得たことなどを、パワーポイントを使用しながら英語で堂々と発表しました。



## 6 令和2年度教育振興会総会

6月2日(火)、住田町長様をはじめ17名の役員の方々のお出席のもと、住田高等学校教育振興会総会が本校視聴覚室で開催されました。教育振興会は住田高校の教育振興を図ることを目的に、本校教職員・PTA・同窓会・町内2中学校・地域有志によって組織された会です。この事業に係る諸経費は、住田町・PTA・同窓会からの補助金等で賄われていて、様々な学習活動、施設整備、通学費・給食費等への補助によって、住田高校生の学習面・生活面の充実が図られています。今年度の事業計画の具体事業は以下の通りです。



### 1 特色ある学校運営・教育課程の充実を図る施策

- (1) 海外交流事業 ア 生徒海外派遣研修
- (2) 芸術・文化事業 ア 中高合同芸術鑑賞会 イ 地域創造学
- (3) 部活動補助事業 ア 備品・消耗品等の購入補助 イ 大会遠征費補助
- (4) 学校魅力化事業 ア 小規模校サミット イ 津田塾大学との交流 ウ 地域みらい留学

### 2 進路意識の高揚と進路目標達成のための施策

- (1) 進路指導補助事業 ア 大学見学会 イ インターンシップ ウ ウインターセッション  
エ Classi事業 オ 小論文添削講座 カ SAP

### 3 住田高校を地域社会及び中学校・保護者にPRし、入学生徒の確保を図る施策

- (1) 学校広報事業 ア 学校案内・ポスターの作成とPR活動  
イ 広報誌「樂水樂山」の作成と配布 ウ ホームページの充実と更新

《文責：副校長 菅野 幸貴》